

2025（令和7）年度 札幌国際大学奨励教育実践報告

DX と観光

Digital Transformation in the Tourism Industry

札幌国際大学観光学部／編

Chapter : Sapporo International University Faculty of Tourism

一粒書房

1 巻頭言 「DXと観光」刊行に寄せて

札幌国際大学観光学部 教授 田中 洋一郎

街中の観光資源をスポットに「シティ★ロゲイニング」を授業に取入れ3年目、

1年目は、紙の報告シートで始まり、雪の中、紙のシートがびしょ濡れになる中、学生たちが楽しく取り組んでくれました。スポットに到達した証の報告画像には、教室では絶対に見ることのできない「素敵な笑顔」があり、この笑顔を見たとき、直感的にこれは大きく展開できる可能性がある！と感じました。

2年目は、「紙シート」から「Google Forms」利用と、少しDX化に着手しました。その時「ライバルチームの動向」、「ゴール直後の順位判定」、「AIでの画像判定」などDX化の推進で、もっとゲーム性が向上できる？主催者の業務の効率化が出来る？と感じていました。

そして、今年度（3年目）、アプリ開発への挑戦も考えましたが、市場には既に汎用性のある市販品が有り、我々の取組の軸足は、このアプリを活用した実践を通じ、市場での展開の可能性や効率的な運営の検証とし、大小の実証実験（高校生を中心に最大300名）を4回実施しました。

先に述べた機能はDX化により、既にいくつか実装されており、高校生たちがより一層ゲーム性を感じてくれ、競争心が沸き立ち、主催者の効率性も高まる、そんなフェーズに入ってきており、「観光の収益モデル」と「教育素材」を兼ね備えたコンテンツになる可能性を改めて実感しております。

観光コンテンツの開発・発信・運営は、観光産業の中でも一番魅力的なジャンルだと思っており、このデジタル化の作業を通じ学生たちが観光に、より深く興味を持って貰える事が高度な観光人材の育成につながると考えます。

本奨励教育を1年基礎ゼミに取り入れて頂き、1年生全員が観光コンテンツの開発に触れることが出来たことを、横田先生始めご担当の先生方に感謝申し上げます。

目 次

- 1 巻 頭 言 田中洋一郎 (札幌国際大学)
- 2 事業の概要 横田 久貴 (札幌国際大学)
- 3 事前指導 出発前のコース設計と発表について
河本 洋一 齋藤 修 (札幌国際大学)
- 4 フィールドワーク当日の運営
田村こずえ 藤崎 達也 細野 弥恵 (札幌国際大学)
- 5 事後指導 成果発表について
顔 樂蘭 新海 茜 (札幌国際大学)
- 6 高校生対象実証実験 小樽編
金庭 香理 田中洋一郎 (札幌国際大学)
- 7 巻末・奥付 横田 久貴 (札幌国際大学)